

めぐみイエス・キリスト教会

2024年10月6日(日)第一主日礼拝

午前10時より

週報「通算第726号」



2024年標題聖句

マタイの福音書第6章33節

《まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて、それに加えて与えられます。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】		
【賛美Ⅰ】	新聖歌170「マジェスティ」	p. 244
【交読文】	No.47 出エジプト記20章	p. 916
【賛美Ⅱ】	新聖歌248「人生の海の嵐に」	p. 382
【使徒信条】		
【主の祈り】		
【前回説教】		
【賛美Ⅲ】	オリジナル曲「天には救いの喜び」	
【聖書朗読】	ルカの福音書6章46節～49節(新約p. 123上段)	
【礼拝説教】	《み言葉を聞き行なう人》	
【聖餐式】		
【賛美Ⅳ】	新聖歌166「威光・尊厳・栄与」	p. 236
【平和祈り】		
【頌 栄】	新聖歌63 「父・御子・御霊の」	p. 85
【祝祷後奏】		

※本日の聖書箇所(ルカの福音書6章46節～49節)

6:46「なぜあなたがたは、私を『主よ、主よ』と呼びながら、私の言うことを行なわないのですか。

6:47 私のもとに来て、私の言葉を聞き、それを行なう人がみな、どんな人に似ているか、あなたがたに示しましょう。

6:48 その人は、地面を深く掘り下げ、岩の上に土台を据えて、家を建てた人に似ています。洪水になり、川の水がその家に押し寄せても、しっかり建てられていたので、びくともしませんでした。

6:49 しかし、聞いても行わない人は、土台なしで地面に家を建てた人に似ています。川の水が押し寄せると、家はすぐに倒れてしまい、その壊れ方はひどいものでした。」

●ポイント1.共観福音書における平行同一記事から

※マタイの福音書7章21節「山上の垂訓から」 (新約p.12)

7:21「私に向かって『主よ、主よ』と言う者がみな天の御国に入るのではなく、天におられる私の父のみ心を行なう者が入るのです。」

●ポイント2.イエス・キリストを主と告白することとは？

※ローマへの手紙10章9節～13節「使徒パウロの理解」(新約p.314)

10:9 なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。

10:10 人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。

10:11 聖書はこう言っています。「この方に信頼する者は、だれも失望させられることがない。」

10:12 ユダヤ人とギリシア人の区別はありません。同じ主がすべての人の主であり、ご自分を呼び求めるすべての人に豊かに恵みをお与えになるからです。

10:13 「主の御名を呼び求める者はみな救われる」のです。

●ポイント3. 信仰の真価が問われる時とは？

※ヤコブの手紙1章2節～1章4節「試練にあうとき」 (新約p.458)

1:2 私の兄弟たち。様々な試練にあうときはいつでも、この上もない喜びと思いなさい。

1:3 あなたがたが知っているとおりに、信仰が試されると忍耐が生まれます。

1:4 その忍耐を完全に働かせなさい。そうすれば、あなたがたは何一つ欠けたところのない、成熟した、完全な者となります。

◎先週の礼拝メッセージ【良い木と悪い木】

《主イエスは、「良い木と悪い木」のたとえを弟子たちに話しました。実は、この例えの解釈には、二通りあります。一つは、クリスチャンを「良い木」、この世の人々を「悪い木」とたとえると言う解釈です。

かつての私たちは、「茨」であり「野バラ」でした。一見綺麗な花を咲かしているように見えますが、人を傷つけるトゲがあるのです。

そして、もう一つの解釈は、教会の中には、良い木と悪い木が存在すると言うことです。主イエスは、最後の晩餐において、「ぶどうの木」のたとえを話されました。それは、主がぶどうの木であり、私たちはその枝だと言うのです。枝は、根から幹を通し、養分をたくさん送られ、やがて花が咲き、実が実って行くこととなります。私たちが、しっかりと主の言葉と信仰に留まっているならば、多くの実を結ぶこととなります。それゆえに、良い木(良い枝)は、多くの実を実のらせるのです。

そして「悪い木」とは、偽兄弟と偽姉妹のことです。実は、ガラテヤ教会には、偽兄弟たちが、信者たちを奴隷にしようとして、主にある自由を奪おうと、忍び込んでいたという大きな問題があったのです。

つまり、信者でもないのに、信者と偽って、教会に侵入して来る者たちがいるということです。それでは、本物の信者と偽兄弟・偽姉妹とを見分けるにはどうしたら良いのでしょうか。実が証明するのです。「良い木が悪い実を結ぶことはなく、悪い木が良い実を結ぶこともありません。木はそれぞれ、その実によって分かります。」

実とは何でしょうか。それは、その人の言葉や行ない、またはその人の醸し出す雰囲気などに現われて来ます。『「良い人は、その心の良い倉から良い物を出し、悪い人は、悪い倉から悪い物を出します。人の口は、心に満ちていることを話すからです。」』と、主が言われた通りなのです。私たちは、目を見張る必要があるのです。》

お知らせ

※次回は10月13日(日)第二主日礼拝は、TPCの和氣敏治代表による特別メッセージと証しとなります。終了後愛餐会を行ないます。